

第6次総合振興計画 委員からの意見まとめ

ページ	項目	ご意見等	回答
11	3-1まちの将来像の下から2行目	「益田で育った・・・活躍することに」の「活躍」というより、「自分らしさを発揮し」とか「自己実現を図り」などが適切ではないと思う。	令和2年8月の山本市長の所信表明から引用しています。（「・・・市民一人ひとりが、このまちに生まれ、このまちに生き、このまちで活躍することを誇りと思える・・・」）
13	(2) 益田市版SDGsの設定上から5・6行目	本計画では・・・SDGsの達成に取り組み、誰もが暮らしやすい・・・目指します。（すっきりした方がわかりやすいのでは？）	13ページ上段の文章を全体的に修正
13	(2) 益田市版SDGsの設定下から4行目	本市において・・・推進するにあたっては、 <u>国連の目指す方向性</u> である17の目標とその理念を継承し、益田市が目指す・・・（すっきりさせた方が良いのでは）	13ページ上段の文章を全体的に修正
13	(2) 益田市版SDGsの設定文章全体	1行目本市に・・・から、2行目このような・・・に関連づけるのは強引な論理であり、SDGsと益田市版SDGsは似て異なるものと思えます。	13ページ上段の文章を全体的に修正
13～15	益田市版 SDGs	各個所に「益田」という文字が入っていたり無かったりしているので、益田市版 SDGsを示していることから益田を削除しても良いと考えます。	修正
13	益田市版SDGs②	今記入されている表現に加え、「生活レベルの向上」といった表現は必要ないでしょうか。	修正
14	益田市版 SDGs⑧	益田市版SDGs⑧については「益田で働きたい」→「このまちで働きたい」としてみてはいかがでしょうか。	修正
14	益田市版SDGs⑩	「人口が減少しても安心して住み続けられるまち」人口が減少しても、と限るのが違和感がある。	修正
14	益田市版SDGs（益田市におけるゴール）⑩	地域資源を活かし、人口減少に対峙しつつ安心して（減少に対応しようとしているので）	別の言葉で修正
15	益田市版SDGs（益田市におけるゴール）⑬	平時から自然災害に備え、 <u>防災・減災に努めながら強くしなやか</u> に対応できるまち（この表現の方が適切では？）	「平時から自然災害に備え」に、防災・減災に努めるというニュアンスも入っていると考え、このままとしています。
16	表 将来の益田市に残したいもの	将来の益田市に残したい物（一例）の中に、子育てをする資源、乳幼児の育つ資源がどこに入るかを示してほしい。（市民アンケートに記入がなければ仕方ありませんが）この自然の中で子どもたちは育ち、益田を体感していると思う。	修正
16	表 将来の益田市に残したいもの「環境資源」	・下から4行目 糸あやつり→糸操り ・・・盛んである （語尾をそろえた方がいいのでは） ・下から3行目 古く情緒ある街並み→町並み	修正
16	表 将来の益田市に残したいもの「社会資源」	・上から2行目 普段からお互いを <u>気</u> にかけ（ <u>を</u> があった方がいい） ・下から1行目 地域の行事、協同・・・精神で活動が継承されている（この方が適切では）	修正
16	表 将来の益田市に残したいもの「経済資源」	「地方と都市を結ぶ高速交通網の萩・石見空港がある」を追記	修正

第6次総合振興計画 委員からの意見まとめ

ページ	項目	ご意見等	回答
16	表 将来の益田市に残したいもの「経済資源」	益田市の発展のため努力する企業が多い ↓ 益田市の発展のため邁進する企業が多い	「邁進」は表現が硬いと考え、そのままとしています。
16	表 将来の益田市に残したいもの「環境資源」	中世などの文化遺産がある → 日本遺産に認定される中世時代の街並み、文化遺産、歴史がある	修正
17	資源の循環について	益田市版SDGsの「人」「経済」「社会」「環境」への振り分けが、今の振り分け方で適切かどうか。1つに限定しにくいものもありそうですね。	国連SDGsの振り分けの考え方は、1つの目標を1つの分野に限定しているので、益田市版も同様の考え方としたいと思います（そのままとしています）。
17	図の中の文字、ロゴマーク	「人」「環境」「経済」「社会」の文字をもう少しはっきりさせた方がよいのではないかと。 ロゴマークは、益田版にしなくてはならないことか検討	図については、デザイン段階で最終調整をします。 ロゴマーク（アイコン）については、益田市における目標だということを表現するために必要と考えています。
22	基本目標 I	基本目標 I 「子育ての希望がかない」と「子育て」が入ったのはよいと思うが、「希望がかない」がわかりにくい。（子育ての場面では子育て支援の充実や安心して産み育てることができることを掲げていたと思います。）	基本目標 I を「子育てにやさしく、誰もが健やかに暮らせるまち」に修正
—	イラストのSDGsについて	各基本目標と横断目標に益田版SDGsの表記がされると、一目で分かりやすいのでは。その後の各目標の説明資料で益田版SDGsの該当項目は記載されると思うが、今後市民に関心を持ってもらうためにも、導入部から視覚的に分かった方がよい。	26・27ページに一覧を追加しました

全般的なご意見	回答
・益田版SDGsが国連のSDGsに関連付けされ、益田に合う内容になったことで、分かりやすくなったと思います。	—
・益田市版SDGsの内容がわかりやすくなりました。	—
・益田SDGsのロゴの意味が、番号だとわかりにくい。	イラストを入れたアイコンに修正済み
・ひとが育つのは生まれたときから始まるので、単なる支援ではなく、益田市民一丸となって子どもたちを育てていくという意識が持てればよいと思う。少子化はすすんではいるが、今、一家庭で3～4人産んで育てている家庭が以前より多いと感じる。不妊に対する支援や子どもを育てる環境の充実も今からもっと必要だと感じる。	具体的な取組は、基本計画に記載
・益田市としては、今後世界共通のアイコンを通して「持続可能なまちづくり」となるよう取り組むことになるかと思えます。海外の人や高齢者などがおられる中、益田版アイコンが本当に必要なのかと考えてしまいます。益田市の「まちの将来像」はとてもスッキリとした言葉となり、関係図もわかりやすいのですが、アイコンは、やはり国際マークの方が一本筋が通っていいように思います。どこの誰が見ても、きちんと目指す方向性が分かることが大切ではないでしょうか。	イラストを入れたアイコンに修正済み
・国際社会であり国際人としてひとりという意識の中、国連が示されたSDGsを活用した方が分かりやすいと感じました。今回、益田市版SDGsとされ、背景は合わせておられるもの番号のみが割り当てられていますので実際には中の文面を見なければならなくなり複雑化するよう思われます。時間と労力をおかけになられていますので訂正は求めませんが、迷いを招くおそれがあり少し危惧しています。	イラストを入れたアイコンに修正済み